

特集①

特集②

情報コーナー

まなびすと

キラリ健康ナビ

わいわいプラザ

### ジングルベル



(幼児向け)

児童書

J・P・ミラー 絵  
(PHP研究所)

ジングルベル、ジングルベル、鈴がなる。動物たちが歌いながらそりに乗っていると、「おうい、とまってくれ！」という声がして…。みんなが知っている「ジングルベル」の歌詞を散りばめた絵本。

### 三世代探偵団



赤川次郎 著  
(KADOKAWA)

天才画家の祖母と、生活力皆無な女優の母と暮らす女子高生有里。母の代役の女優が殺されたのをきっかけに、三人の周囲には次第に不穏な影が及び寄り…。

### 色の野菜の栄養事典



吉田企世子 監修  
(エクスナレッジ)

野菜から得られる成分や効能を見極めるポイントが「色」だった。ファイトケミカル(機能性成分)をバランスよく食べる指針として、野菜を「緑」「赤」「紫」「オレンジ」「黄」「白」「茶」「黒」の五つに分類して紹介する。

### フィルムカメラのはじめかた



上田晃司・河野鉄平 著  
(技術評論社)

写真をじっくり楽しみたい人、デジタルカメラに飽き足らない人に向け、フィルムカメラの基礎知識から、選び方、撮影の仕方、現像までをわかりやすく解説する。

### 豊山俳句クラブ

青山克己 選

坪井径子 秋澄めり国室といふ阿弥陀堂  
杉浦みどり 豆腐屋の曇りガラスや秋深し  
平手英信 鎌はじめ孫に手ほどき千枚田  
小塚美枝 三和土には冬瓜ごろりごんろりと  
岡島 齋 秋しぐれ川の向かうに流人小屋  
石黒貴代子 信号の赤あかあかと秋の暮  
青山克己 何かまた秋から欠けてゆくひとつ

谷崎 琴 いつもより広い夕焼け空 ずつと  
高木須磨子 晩秋の川筋ばかりひかる なぜ  
田村多喜子 遠き日のままにありけり曼珠沙華

### 豊山歌壇

水野笑子 選

佐藤良子 流れ行く雲の速さの切れ間より  
明るき月のくつきりと見ゆ  
柴田満枝 幼な時初めて海を見し驚き  
地球の丸さを父に教はる

鈴木久子 真黒の顔に綻ぶ白き歯は  
喜び語る高校球児  
鈴木弘香 白うさぎ跳ねてるやうに見えし海  
真昼友とのあの日懐かし  
中澤良子 高原をすつばり包む霧の中に  
ほっこり夕管山のあぢさるの花

水谷弘子 昼中は残暑と秋が綱引けど  
いつしらは空はやさし色なす  
水野勝代 西瓜割り白き砂浜に飛び散らふ  
真赤な果肉今ほ眼に  
山田 米 囚はれのままにて死せる劉曉波氏  
夜明けは遠し中国の間  
渡辺トヨ子 澁みたる田水に映る宵の月  
風の渡ればその影崩る  
荒川昌枝 古里の老父母迎へ鳥羽の海に  
海女の磯笛聞きにし記憶

### 編集後記

白井健次さんは、自転車開発を行う会社「バイク技術研究所」の社長である。軽量でも強度の高いフレームを得ている。その名もYS-11である▼白井さんは、中学二年のとき、国産旅客機YS-11の初フライトを目にした。そのときに深く焼き付いた感激を胸に、大学卒業後、日本航空機製造株式会社(日航製)に就職する。憧れだったYS-11の車輪を支える主脚の改良などの重要業務に携わったそう。冒頭の自転車の折り畳み構造にYSの技術が生かされている(白井健次「YS-11、走る」より)

▼十五ページの連載「私の航空史」で岡野允俊さんも記しているように、名古屋空港はわが国の航空史を彩る数々の舞台となった。MRJの美しい初飛行はまだ記憶に新しい▼あいち航空ミュージアムは、子どもたちの夢を育み、将来航空機産業に携わる人材の育成も大きなテーマとしている。わが町は、多くの若者が、目の前を飛び立つ飛行機に胸を躍らせる聖地でありたい。小さな町で、大きな夢は育つ。